

第40回 長岡しんきん業種別景気動向調査レポート

平成28年4月 発行

特別調査 中小企業の将来を見据えた事業承継について

長岡信用金庫 総合企画部
TEL(0258)36-4344

【実績】平成27年10月～平成28年 3月

<http://www.nagaoka-shinkin.com/>

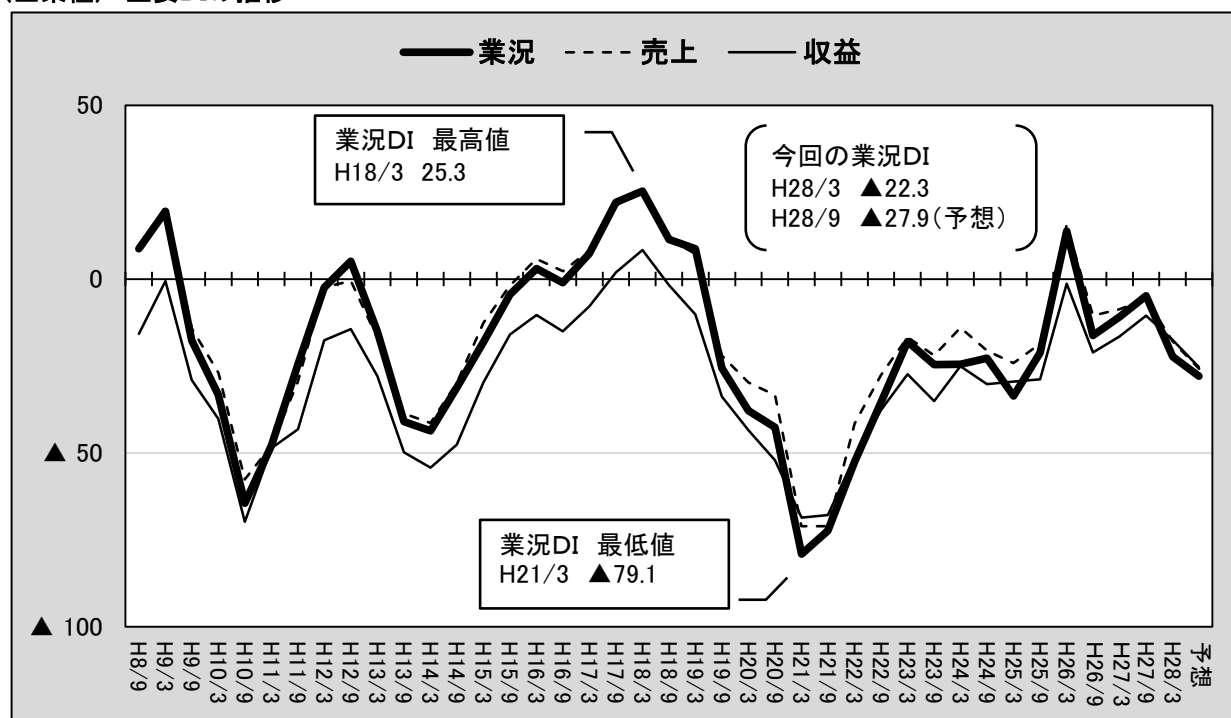
【予想】平成28年 4月～平成28年 9月

業況DIは17.5ポイント低下して▲22.3。
後継者がすでに決まっている企業は40%。

(全業種) 前回、今回、予想の比較

	前回	変化幅	実績	変化幅	予想
業況	▲ 4.8	-17.5 (悪化)	▲ 22.3	-5.7 (悪化)	▲ 27.9
売上	▲ 5.7	-12.3 (悪化)	▲ 17.9	-7.9 (悪化)	▲ 25.8
仕入価格	25.6	-16.3 (改善)	9.3	-1.3 (改善)	8.0
販売価格	0.9	-9.6 (悪化)	▲ 8.8	-3.5 (悪化)	▲ 12.3
収益	▲ 10.5	-6.9 (悪化)	▲ 17.5	-7.9 (悪化)	▲ 25.3
在庫	5.3	0.1 (横這)	5.4	-3.4 (改善)	2.0
受注残高	2.0	-21.4 (悪化)	▲ 19.4	1.9 (改善)	▲ 17.5
資金繰り	▲ 5.2	-6.1 (悪化)	▲ 11.4	-8.3 (悪化)	▲ 19.7
人手	▲ 25.2	7.3 (改善)	▲ 17.9	-4.4 (悪化)	▲ 22.3
設備状況	▲ 12.2	7.8 (改善)	▲ 4.4	-3.1 (悪化)	▲ 7.5

(全業種) 主要DIの推移



(業種別) 前回、今回、予想の比較

(製造業)

・業況、売上、収益ともに悪化。

	前回	変化幅	実績	変化幅	予想
業況	9.0	-31.5 (悪化)	▲ 22.5	-11.2 (悪化)	▲ 33.7
売上	4.5	-27.0 (悪化)	▲ 22.5	-12.3 (悪化)	▲ 34.8
収益	▲ 5.7	-16.8 (悪化)	▲ 22.5	-5.6 (悪化)	▲ 28.1

(建設業)

・業況、売上、収益ともに悪化。予想は業況、売上改善見込み

	前回	変化幅	実績	変化幅	予想
業況	▲ 1.9	-20.7 (悪化)	▲ 22.6	18.8 (改善)	▲ 3.8
売上	▲ 13.2	-1.9 (悪化)	▲ 15.1	9.4 (改善)	▲ 5.7
収益	▲ 7.7	-18.7 (悪化)	▲ 26.4	0.0 (横這)	▲ 26.4

(卸売業)

・業況、売上は悪化、収益は改善。

	前回	変化幅	実績	変化幅	予想
業況	▲ 10.5	-10.6 (悪化)	▲ 21.1	-5.2 (悪化)	▲ 26.3
売上	▲ 5.3	-21.0 (悪化)	▲ 26.3	-5.3 (悪化)	▲ 31.6
収益	▲ 15.8	5.3 (改善)	▲ 10.5	0.0 (横這)	▲ 10.5

(小売業)

・業況、売上、収益ともに改善。

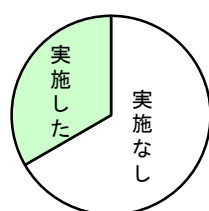
	前回	変化幅	実績	変化幅	予想
業況	▲ 34.5	3.5 (改善)	▲ 31.0	-10.4 (悪化)	▲ 41.4
売上	▲ 24.1	10.3 (改善)	▲ 13.8	-20.7 (悪化)	▲ 34.5
収益	▲ 17.2	10.3 (改善)	▲ 6.9	-13.8 (悪化)	▲ 20.7

(その他)

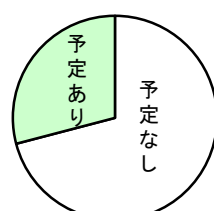
・業況は横這い、売上は悪化するも、収益は改善。

	前回	変化幅	実績	変化幅	予想
業況	▲ 15.0	-0.4 (横這)	▲ 15.4	-23.1 (悪化)	▲ 38.5
売上	▲ 5.0	-5.3 (悪化)	▲ 10.3	-12.8 (悪化)	▲ 23.1
収益	▲ 17.5	12.4 (改善)	▲ 5.1	-23.1 (悪化)	▲ 28.2

(全業種) 設備投資の実施と予定

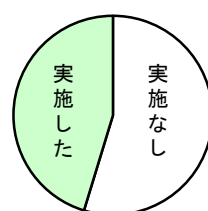


実施した
33.3%

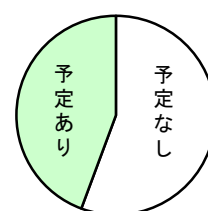


予定あり
29.1%

(全業種) 借入の実施と予定



実施した
45.3%



予定あり
44.3%

(業種別) 経営上の問題点について(上位3つまで)

	全業種	製造業	建設業	卸売業	小売業	その他
売上の停滞、減少	20.5%	18.5%	18.0%	20.8%	27.4%	23.3%
人手不足		10.8%				
同業者間の競争激化	12.5%		16.5%	15.1%	16.4%	13.6%
利幅の縮小	11.4%	10.4%	14.4%		9.6%	10.7%
材料価格の上昇						
販売先からの値下げ要請				13.2%		

(業種別) 当面の重点施策について(上位3つまで)

	全業種	製造業	建設業	卸売業	小売業	その他
販路を広げる	22.6%	20.9%	24.2%	26.9%	23.5%	21.7%
経費を削減する	18.0%	15.3%	17.3%	17.0%	21.9%	22.3%
情報力を強化する	13.6%		14.4%	15.1%	9.6%	19.4%
人材を確保する					9.6%	
技術力を強化する		19.8%				

(業種別) 調査員のコメント

(製造業)

- ・大手メーカーからの受注増が長期化しており50名程度の派遣社員で増産対応。海外の生産シフトの関係もあるが、受注面若干増加。
- ・外部要因及び一貫生産(板金・加工・組立)の強みにより受注好調。中小企業診断士のアドバイスを受けながら、来期長男へ事業承継。
- ・エンドユーザーが国内よりも海外向けの受注が好調推移。昨年、先代社長から現社長への承継を済ませ、社内体制も整いつつある。
- ・取引先からの受注量に格差が出てきた。人手不足は変わらず、求人に応募はあるが雇用対象とならない。技術力を上げ、生産性を上げて行きたい。
- ・昨年来堅調に推移していたが昨年の暮れ頃より動きが鈍っている。但し、東京五輪に向けての需要は旺盛であり、新年度に入れば自ずと動き出してくると思われ、心配はしていない。

(建設業)

- ・公共工事の減少もあり、建売住宅建設を含め個人・民間に注力。受注確保はしているが、採算面は下降傾向。
- ・公共工事の入札はあるものの落札率は低調。金額も小口化傾向で、民間工事も採算面シビアの状況。
- ・スーパーゼネコン、地場ゼネコンからの受注、引合い安定しており、受注面堅調。
- ・売上の減少、人手不足を経営問題点としており、今後販路の拡大、人材確保しつつ、機械化推進を考えている。
- ・先代社長の高齢化により現社長は30代前半で就任。代表権の集約、株式買取が今後の課題。
- ・新規受注は前年に比べ若干減少が見込まれるものの来春にかけて増税前の駆け込み需要が見込める。
- ・暖冬少雪だった為、工事の進捗状況は良かった。工事エリアが広い為、コストが掛かり利幅縮小。

(卸売業・小売業)

- ・現在、創業家以外の40代社長が就任。後継予定者であった長男が30代前半と若かったことから、社内体制の整備及び後継予定者の教育を兼ねての対応。
- ・鉄工業界の受注減に伴い、売上減少が予想される。後継者は長男を予定。現在のマイナス金利が業界へ与える影響を不安視している。
- ・永年の固定客有しているも、高齢化進み、売上減少傾向。付加価値商品に注力。タウン誌等にPR。徐々に反響あり。後継予定者はいるが、事業の将来性等考慮・検討している状況。

(その他)

- ・高齢者世帯の物件売却依頼は多少増加しているものの成約案件は少ない。仲介物件の動きは低調で賃貸管理が主体。
- ・現在特養などの老人施設や大型マンションの受注設計を中心に請負っており、若干の受注減少は見られるものの、今後2年程度は受注設計が確保されている状況。会長から社長への事業承継も順調に進んでいる。

特別調査 中小企業が地域金融機関に望むこと

問1

貴社の社長（代表者）の年齢階層はいずれに属しますか。次の1～5の中から1つ選んでお答えください。また、貴社の後継者問題について最もあてはまるものを6～0の中から1つ選んでお答えください。

社長の年齢階層		後継者について	
1. 20歳台、30歳代	4.3%	6. 後継者はすでに決まっている	40.0%
2. 40歳代	23.3%	7. 後継者はいるが、まだ決まっていない	22.7%
3. 50歳代	22.4%	8. 候補者が見当たらない	6.2%
4. 60歳代	34.9%	9. まだ考えていない	27.1%
5. 70歳代以上	15.1%	0. 後継者は必要ない (事業譲渡希望、廃業予定など)	4.0%

問2

貴社の現時点における事業承継の考え方について最もあてはまるものを、次の1～0の中から1つ選んでお答えください。

1. 子供(娘婿などを含む)に承継	58.3%	6. 忙しくて考える余裕がない	1.8%
2. その他の同族者(兄弟、親戚など)に承継	6.1%	7. 何から手をつけて良いかわからない	1.8%
3. 非同族の役員、従業員に承継	9.6%	8. 身近に相談相手がいない	0.4%
4. 非同族の社外の人材に承継	1.8%	9. 現時点で、考えるつもりはない	14.9%
5. M&A(第三者への事業譲渡)等	1.3%	0. 現在の事業を継続するつもりがない	3.9%

問3

事業承継に関し、情報や知識の入手先について、次の1～0の中から2つ以内で選んでお答えください。

1. 新聞・書籍	11.4%	6. 専門家(税理士等)	22.8%
2. インターネット	10.6%	7. 取引先企業	6.3%
3. 取引先金融機関	20.1%	8. コンサルタント企業	4.1%
4. 商工会議所・商工会	8.4%	9. その他()	1.1%
5. 国・地方公共団体およびその外郭団体	0.8%	0. 特になし	14.4%

問4

貴社では事業承継を行おうとする際に、どのようなことが問題になると考えられますか。次の1～0の中から3つ以内で選んでお答えください。

1. 事業の将来性	26.4%	6. 借入れに際しての個人保証・担保	12.3%
2. 取引先との信頼関係の維持	20.2%	7. 相続税などの税金対策	5.8%
3. 社員の不平・不満	3.5%	8. 自社株など個人資産の取扱い	8.9%
4. 先代経営者の影響力	4.2%	9. 特になし	4.6%
5. 後継者の力量不足	13.1%	0. その他()	1.0%

問5

中小企業が円滑に事業承継を進めていく上で、信用金庫には何を期待しますか。信用金庫に対して期待していること、もしくは今後期待したいことについて、最もあてはまるものを次の1～0の中から1つ選んでお答えください。

1. 後継者教育・セミナー等	29.5%	6. 早期の事業承継の準備への助言等	11.0%
2. 個別相談	11.0%	7. 承継後の事業計画の策定への助言等	7.5%
3. 専門家(税理士等)の紹介	1.3%	8. 自社の問題であるため自社で解決	16.3%
4. 事業譲渡先の紹介	0.4%	9. 特に期待していない	9.3%
5. 事業承継前後の個人保証・担保の対応	11.5%	0. その他()	2.2%

調査要領

調査時点 : 平成28年3月

調査方法 : 当金庫職員による面接聴き取りによる感触調査

対象期間 : 【実績】平成27年10月～平成28年3月 【予想】平成28年4月～平成28年9月

調査地域 : 当金庫営業地域(長岡市、見附市、小千谷市、南魚沼市)

調査先 : 230先(回収率99.6%)

分析方法 : 各質問項目で「増加」(上昇)したとする企業が全体に占める構成比と、「減少」(下降)したとする企業の構成比との差(判断D.I.)を中心にして分析を行った。

本レポートは、標記時点における情報提供を目的としています。したがって、投資等についてはご自信の判断によってください。また、本レポート掲載資料は、当金庫が信頼できると考える各種データに基づき作成していますが、当金庫が正確性および完全性を保証するものではありません。